

## 徳島市立中学校「制服のあり方」に関する基本方針

徳島市内の中学校では、学校ごとに標準服（制服）が定められており、詰襟・セーラー服が14校、ブレザー型が1校となっている。

国からは、令和3年6月8日付文部科学省事務連絡で「学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況は変化するため、制服等を含む校則の内容は、児童生徒の実情、保護者の考え方、社会の常識、時代の進展などを踏まえたものになっているか、絶えず積極的に見直さなければならぬ」との考え方が示されている。

こうした国の方針や、近年の気候変動や個人の価値観の多様性を尊重する動きから、全国的に公立中学校の制服を見直す自治体が増加している状況を受け、徳島市においても市立中学校における制服のあり方や市立中学校共通の制服（標準制服）の導入可能性等を検討するため、令和6年8月に「徳島市立中学校制服のあり方検討委員会」を設置し、児童生徒や保護者、教員を対象にアンケート調査を実施するとともに、調査結果等を踏まえた検討を行った結果、「徳島市立中学校「制服のあり方」に関する基本方針」を次のとおり定める。

今後、この基本方針をもとに、多様な性への配慮、保護者の負担軽減、機能面の向上等を勘案して、市立中学校共通の「徳島市版標準制服」の導入に向けて準備を進めることとする。

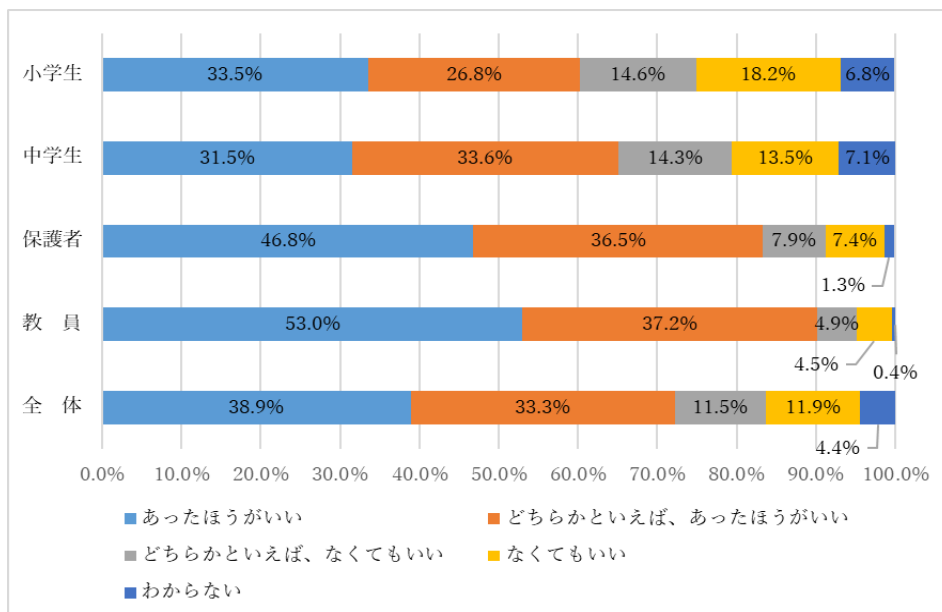
### 1 制服の必要性について

アンケート調査結果を踏まえ、「制服は必要」と整理する。

【アンケート結果】

Q. 制服の必要性についてどう思いますか。

A.



## 2 制服を見直す必要性について

国の方針やアンケート調査結果等を踏まえ、「見直す必要性がある」と整理する。

### 【国の方針】

- 学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況は変化するため、制服等を含む校則の内容は、児童生徒の実情、保護者の考え方、社会の常識、時代の進展などを踏まえたものになっているか、絶えず積極的に見直さなければならない（R3.6.8 付文部科学省事務連絡）

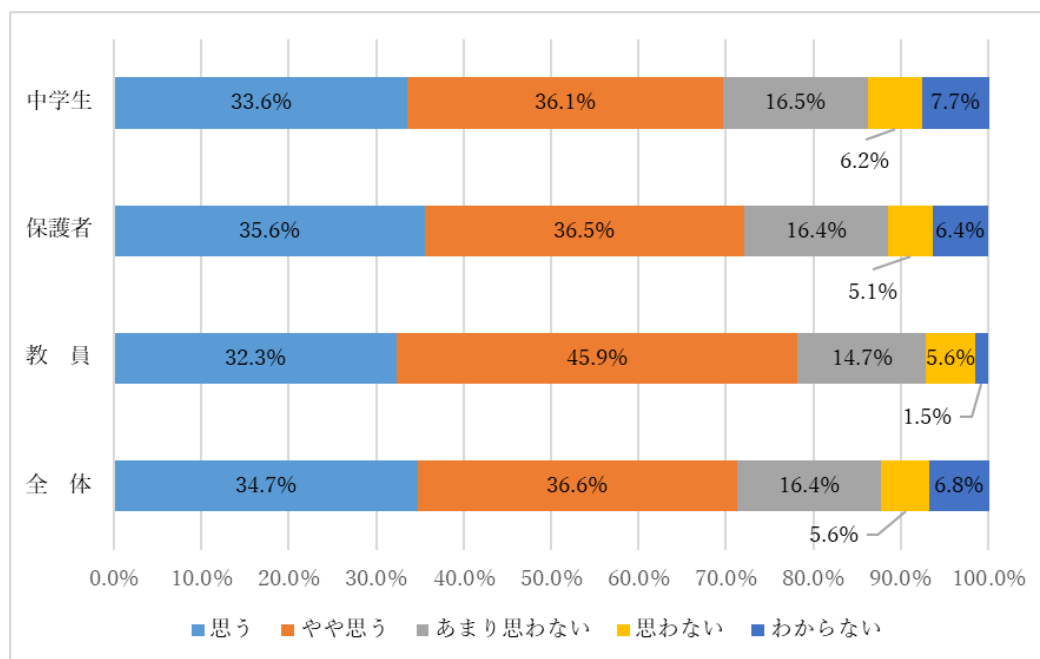
### 【第1回あり方検討委員会が出された意見】

- 現在の制服は機能的でないとの保護者の声がある。  
年々暑さが増す中、現在の校則や、これまで「こうあるべき」としてきたことが本当に子どもたちの体調や実態に即しているか。また、制服が本当に機能的で快適かを子どもたちと見直す機会と思う。

### 【アンケート結果】

- Q.現在の制服は、暑さ寒さへの対応、動きやすさ、性の多様性、その他の観点から見直す必要がありますか。

A.



### 3 標準制服の導入是非について

アンケート調査結果等を踏まえ、「徳島市立中学校共通の制服「標準制服」の導入準備を進める」ことに決定する。

なお、導入にあたっては、より多くの関係者から理解が得られるよう、学校の識別が難しくなるなどの不安材料は可能な限り解消に努めるとともに、標準制服のメリット等の適切な周知に努める。

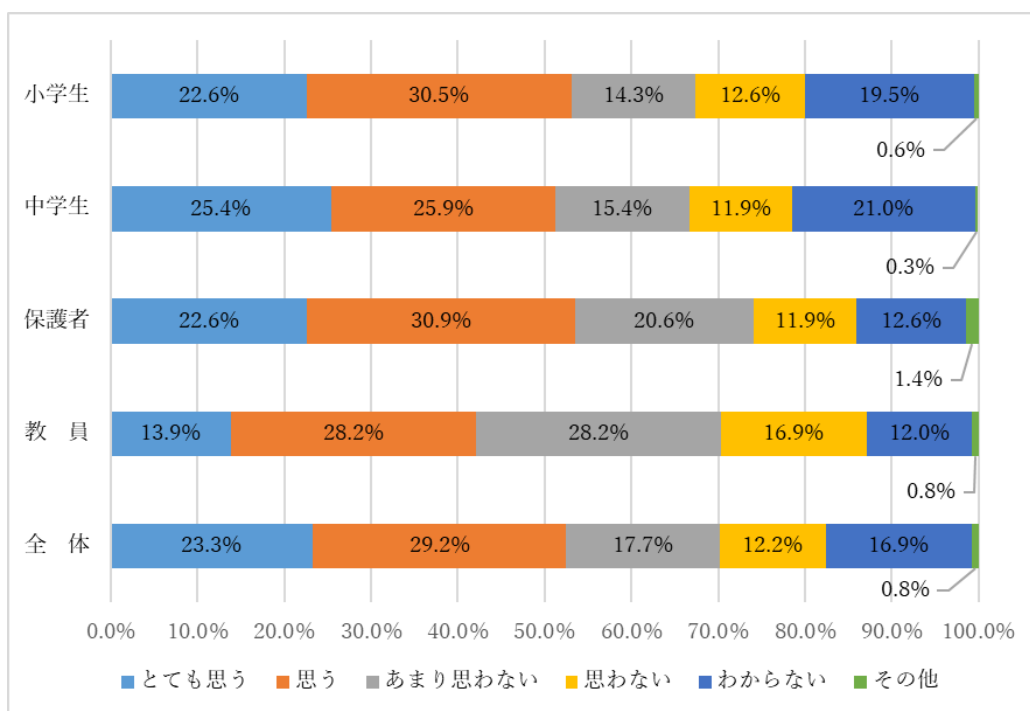
#### 【標準制服のメリット・デメリット】 他市事例より

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能性の向上</li> <li>・ジェンダーレスへの対応の向上</li> <li>・仕様の共通化による価格抑制</li> <li>・SDGs（リユース）の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ごとの識別が困難に</li> </ul>

#### 【アンケート結果】

Q. 他県では「公立中学校共通の制服」として、ブレザーにスカート、スラックス、キュロットスカート等を採用する事例が増えていますが、徳島市でも採用した方が良いと思いますか。

A.



#### 4 標準制服のスタイル及び配慮事項

国の方針やアンケート調査結果等を踏まえ、次のとおり整理する。

##### (1) 制服の形（スタイル）に関する事項

- ・冬用の上衣は、ブレザー型とする。
- ・夏用の上衣は、ポロシャツ及びワイシャツとし、生徒自身が選択できるようにする。
- ・ベストやカーディガン、袖の長さ等により、温度調節ができる工夫について提案を受けるとする。
- ・下衣はスラックス、スカート及びキュロットスカートとし、学校や生徒による選択を可とする。
- ・基本となる色は紺色系、黒色系、灰色系のいずれかとする。
- ・夏用・冬用ともに、各種アイテム（ネクタイ、リボン、ワッペン等）を使って学校の区別ができる提案を受けることとする。
- ・全体を通して、ジェンダーレスへの配慮を行う。
- ・本市の中学生が誇りをもち、長く愛されるデザインであること。
- ・標準制服を採用した中学校の間で制服リユースがしやすくなることが望ましい。

##### (2) 機能性に関する事項

- ・暑さ寒さへの適応性に優れ、快適に1年が過ごせる機能性を有していること。
- ・動きやすく、通気性や着心地にも配慮し、快適に学校生活を送ることができるもの。
- ・汚れが付きにくく落としやすいなどの機能があり、家庭用洗濯機で丸洗い可能で、しわになりにくい等家庭でのケアがしやすい素材であること。
- ・生徒の成長にあわせて仕立て直し等の対応ができ、3年間着用できる耐久性のあるもの。
- ・生徒の体格に応じた配慮ができるものであること。
- ・自転車通学等を考慮し、スカートは風などで広がりやすいものであること。
- ・夏用の上衣は、透けにくく、通気性が良いものとする。また、白色の場合は黄ばみにくく、色物の場合は洗濯による色落ちが少ないこと。
- ・色褪せなど、経年劣化が目立ちにくい素材とすること。
- ・雨や汗で濡れたときに、変色する素材は避けること。

##### (3) 価格に関する事項

- ・現行を上回らない、もしくは現行の保護者負担が増えない価格設定を目指すものとする。

【国の方針】

- 性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応が求められる  
(H27.4.30 付文部科学省通知)
- 「学校及び教育委員会は、通学用服等の学用品等の購入について、保護者等の経済的負担が過重なものとならないよう留意すること」  
(H30.3.19 付文部科学省通知)

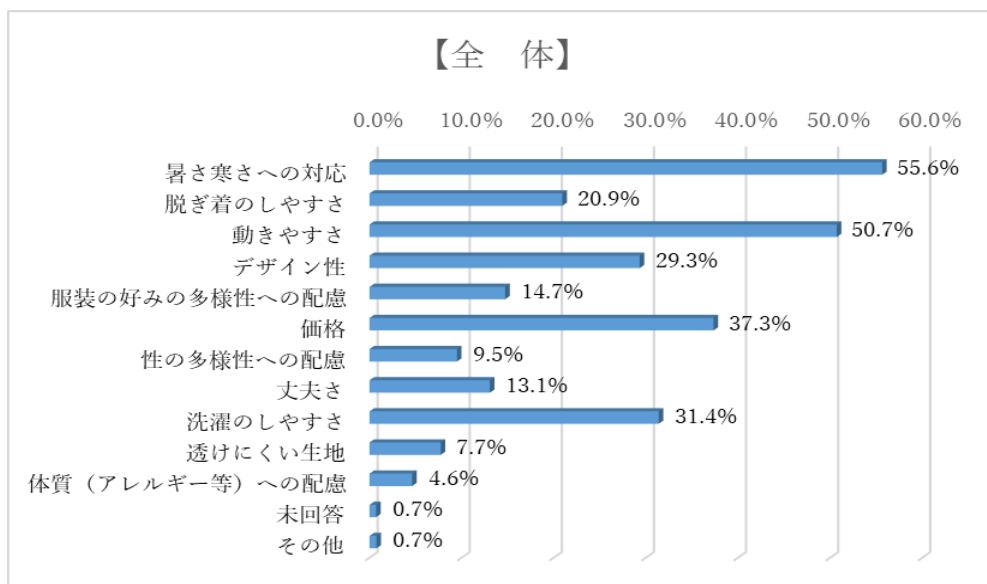
【第1回あり方検討委員会が出された意見】

- 生徒指導の観点から、すべての学校が同一のデザインとなることで識別が困難となることに不安・課題がある→識別方法の工夫が必要
- 識別できることも大切だが、リユースしやすい形状としておき、安価に入手できる工夫が保護者にとっては大きな決め手と考える
- コストは重要な問題なので、中心的に考えるべき
- 最初から下着が透けない色の制服を考えていただきたい。

【アンケート結果】

Q.標準制服を新たに定めるとした場合、優先することは（3つまで）。

A.



Q.標準制服のスタイルは

項 目		回 答		
		第1位	第2位	第3位
男子	冬服上衣	ブレザー	詰襟学生服	
	夏服上衣	ポロシャツ	ワイシャツ	開襟シャツ
女子	冬服上衣	ブレザー	セーラー服	
	夏服上衣	ポロシャツ	ワイシャツ	開襟シャツ
共通	下衣	スラックス	スカート	キュロット
基本となる色		紺色系	黒色系	灰色系

## 5 標準制服の導入時期等

徳島市の標準制服は令和9年4月からの導入を目指す。

ただし、標準制服採用の是非および導入時期、着用を認める学年等については、各校において判断するものとする。

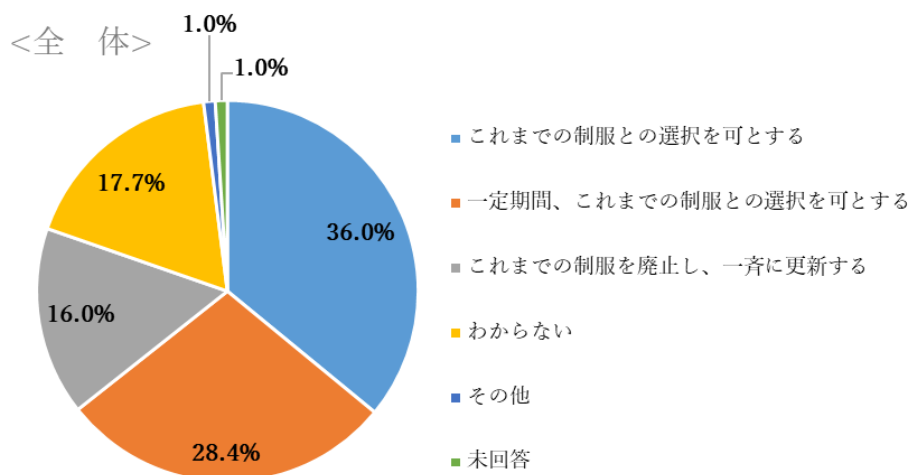
## 6 従来の制服の取扱い

アンケート調査結果を踏まえ、徳島市の標準制服は、これまでの詰襟学生服・セーラー服に加わる「もう一つの選択肢」として扱うこととし、従来の制服から標準制服への一斉更新は行わないものとする。

【アンケート結果】

Q. 標準制服を採用するとした場合、最もよいと思う方法は。

A.



## 7 導入方式について

検討の結果、「各社縫製方式」を採用する。

【各社縫製方式とは】

縫製仕様書を固めてから、各メーカーに公表する方法

【メリット】

- ・仕様書の作成に係る相談窓口は1社となるため、デザイン・仕様が決めやすく、スピーディに対応できる。
- ・縫製仕様書を公表することで、各メーカーで縫製が可能となる  
(販売店が現状の仕入先から商品を仕入れることができる)

【デメリット】

- ・各メーカーに対応可能な標準的な仕様となるため、メーカー独自機能等を有した提案はできず、生地等も標準的なものになりやすい

## 8 導入準備・スケジュール

標準制服の導入にあたり、デザインの決定や制服メーカーに開示する仕様書の作成および導入後の運用等の支援を行うサポートメーカーの選考を、公募型プロポーザル方式により実施する。

(1) 業務名 徳島市立中学校の標準制服導入支援業務

(2) 業務内容

- ・ 標準制服のデザイン決定に係る支援（デザイン・タイプ・附属品の提案等）
- ・ 標準制服デザイン総選挙（生徒等アンケート）の実施に係る支援
- ・ 標準制服の仕様書の作成および開示（説明会での関係者への説明を含む）
- ・ 標準制服の審査・承認に係る支援および承認した商品のリスト作成・販売店への周知

(3) 履行期間

業務委託契約締結日の翌日から令和7年10月末日まで（予定）

(4) 業務スケジュール

令和6年11月～	公募型プロポーザルの実施
12月初旬	サポートメーカーの決定
12月下旬	サポートメーカーによる標準制服基本デザインの提案
令和7年2月中旬	標準制服の実物サンプル確認、中学校生徒代表による意見交換 仕様書等の協議検討
2月下旬	標準制服デザイン総選挙（生徒等アンケート）の実施
3月末	標準制服デザインの決定及び公表
4月～	必要に応じ各中学校における細部デザインの検討開始
5月	仕様書（細部デザインを除く）の開示 （メーカー、販売店へ情報提供）
9月中旬	各中学校における細部デザインの決定
9月下旬	細部デザインに係る仕様書の開示（メーカー、販売店へ情報提供）
令和8年11月	標準制服の注文受付開始
令和9年3月	標準制服の引渡し開始
4月	標準制服の着用開始

※業務スケジュールについては予定であり、事業者選定後に協議の上、決定する。